

## 病院図書室における オンラインジャーナルの利用統計分析

山田有希子<sup>1)</sup> 菊地元子<sup>2)</sup> 長谷川真知子<sup>3)</sup> 川上摩記<sup>4)</sup> 石川晶子<sup>5)</sup>

1)東京厚生年金病院図書室 2)独立行政法人国立病院機構東京医療センター図書室  
3)元国保旭中央病院図書室 4)新潟市民病院図書室 5)国立国際医療センター図書館

### <目的>

病院図書室におけるオンラインジャーナルの利用実態を調査・検討するとともに、導入と利用を図る上での話題を明らかにすることを目的とした。

### <方法>

**研究Ⅰ**：病院図書室研究会の会員機関に対して、オンラインジャーナルの利用に関するアンケート調査を実施し、分析した。

**研究Ⅱ**：実際にオンラインジャーナルを導入する場合の参考となるよう、モデル病院図書室を想定し、コンソーシアムの可能性について検討した。

**研究Ⅲ**：病院図書室でオンラインジャーナルがどのくらい利用されているかを文献的に調査・分析するとともに、著者らの所属機関でのオンラインジャーナルの利用状況の調査・分析を行った。

### <結果>

**研究Ⅰ**：①回答機関の65%がオンラインジャーナルを利用していること(図1)、②その中でも冊子体購読者無料のオンラインジャーナルのみの利用が63%であること(図2)、③利用していない機関の今後の導入予定は「どちらともいえない」が54%を占めていることなどが明らかとなった。

図1 オンラインジャーナルの利用状況

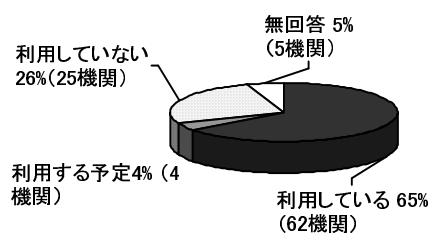
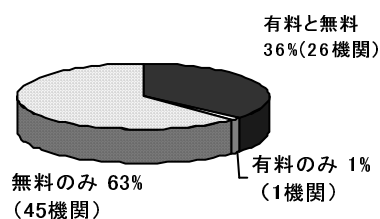


図2 有料無料の内訳



**研究Ⅱ**：モデル病院図書室購読雑誌の冊子体の約半数で、購読者無料のオンラインジャーナルが利用できることがわかった。また、コンソーシアムの形成は現状では難しく、それ以前に会員のオンラインジャーナルの利用促進が先決であることがわかった。

**研究Ⅲ**：現在データの収集・整理中であるので、当日詳細の分析結果を示す。

### <結語>

病院図書室におけるオンラインジャーナルの利用を一層促進するためには、こうした調査・分析を踏まえて、各機関の話題を継続的に提供していくことが重要と考えられた。